

SWANStor[®]

導入事例

大鵬薬品工業株式会社 様



大鵬薬品工業株式会社
情報システム部
福山昭彦 様



「**ファイアーウォールの設定変更が無い** ことと、
見せたいアプリをピンポイントで配信できる ことが
SWANStor を採用した理由です。
10 年以上利用してきた製品の信頼性と運用実績により、この度
SWANStor Gateway のホスティング も依頼することになりました」

大鵬薬品工業株式会社様では、臨床試験のプロセスで得られた医薬品の副作用に関する情報を「安全性情報管理システム」に蓄積してありますが、SWANStor を採用することで、その情報を世界中からセキュアに共有するシステムの構築を実現しました。SWANStor の導入の経緯と効果について、大鵬薬品工業株式会社 情報システム部 福山昭彦 様にお話を伺いました。



私たちは人びとの健康を高め
満ち足りた笑顔あふれる
社会づくりに貢献します。

画期的な新薬を心待ちにする、
世界中の患者さん、医療関係者の
勇気となり、力となるために。

病を克服するために薬に希望を託す患者さん、ご家族。患者さんのために最善の治療を模索する医療関係者。その思いを一つに病と闘う力となり、勇気となるために。大鵬薬品は、価値の高い新薬を創製し、患者さん、医療現場にお届けすることで、世界中の人びとの笑顔と健康に貢献してまいります。

リモートアクセスツール 導入の経緯

まず、リモートアクセスツールを導入した背景を教えてください。

当社では、臨床試験のプロセスで得られた医薬品の副作用に関する情報を、社内の「安全性情報管理システム」に蓄積しています。

臨床試験とは、新しく開発した医薬品が安全かどうか、また症状に対して有効であるかどうかを確認するために、治療を兼ねて行われるテストのことです。

当社では、医薬品開発における臨床試験を世界中に点在する CRO（Contract Research Organization：医薬品開発受託機関）に委託していますが、副作用情報を CRO がより安全に「安全性情報管理システム」に入力する手段が求められていました。

リモートアクセスツールを選ばれる際に最も重視したポイントは何でしょうか。

副作用情報は非常に機密性の高い情報です。「安全性情報管理システム」は Web システムですが、単純な基本認証だけでは不十分で、より強固な通信の暗号化や認証をはじめとするセキュリティが必要不可欠でした。

当社が必要とする高いセキュリティレベルを実現するためにいろいろな製品を比較検討した結果、SWANStor を採用することになりました。

SWANStor を選んだ理由① …「より高い安全性」

SWANStor を採用された理由は何でしょうか。

高度なネットワークセキュリティを実現するため、当社が調査を開始したのが 2004 年の頃でした。当時複数社の製品を比較検討しましたが、SWANStor は次の 2 点で他社より優れていると判断し、採用に至りました。